



◆学部3年生を対象に選択必修科目 平成22年度前期 金3・4時限、静岡、浜松両キャンパスで 「ジェンダーからみる現代社会」を開講

ジェンダーとは何か、それが社会に、そして私たちの生き方にどのように関連しているのか、さまざまな角度からさまざまな材料を基に考察してこの問いに答えようとする科目です。

ある大学病院で、即刻手術が必要な癌と診断され入院しました。

担当となるのでよろしくと病室へ来た外科医は、女性でした。

あなたがもしこの患者だったら、執刀医が女性であると知ったときどんなことを思うでしょうか。男性医師だったら感じなかった不安を感じることは無いでしょうか。たとえその女性医師が実は有能な外科医であったとしても、です。

私たちには、「らしさ」のしつけや教育によって、社会が求める、いわば後天的に身に付け無意識にとっている行動や態度があります。そして、無意識のうちに他者にも「らしさ」を求めています。しかも、社会が求める「らしさ」は、社会や文化、宗教、時代等によって異なります。こうしたことに気がつく、社会のさまざまな事象をまた違った視点から見る事が出来るようになり、理解が深まります。

この科目を学ぶことによって、現代社会におけるさまざまな事象や問題を理解する力が大きく向上し、さらに自分自身の生き方を考える際の大切な視点が身につくはず。こうした能力は、これから社会に出ていく学生にとって大きな力になるでしょう。



◆研究支援員制度が変わりました



静岡大学では、出産・育児、介護等により、研究活動の支援を必要とする本学の男女研究者に対し、適切な「研究支援員」を速やかに配置することを目的とした「研究支援員制度」を制定しました。(これまでは女性研究者支援でしたが男女を対象としました)

● 支援の対象者

以下の①～④をすべて備えた者

- ① 本学の常勤の教員
- ② 妊娠中の者、小学6年生までの同居の子供をケアしている者又は市町村から要介護の認定を受けている親族(同居別居は問わない)を介護している者
- ③ 上記②のいずれかの事由により研究活動が十分にできない者(産前産後休暇中、育児休業中又は介護休業中の者を除く。)
- ④ 研究支援員に依頼する支援活動の内容が具体的である者

●支援時間 週最大 12 時間

●支援期間 4月から9月まで又は10月から3月までの期間内

*2月と8月に募集！なお緊急事態が発生した場合はご相談ください。

*ただし、当該期間中に支援対象者の資格要件を失った者については、期間終了を待たずに支援を終了するものとする。

詳しくは、<http://www.oges.shizuoka.ac.jp/sprt/dtop.html> (学内専用)をご覧ください

研究支援員人材データベースの登録について

研究支援員は、実験補助、調査研究補助などを担当します。研究支援員として採用を希望される方は、研究支援員データベースにご登録をお願いします。登録者の中から若干名を選考します。

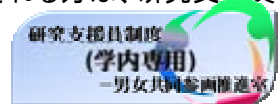
●研究支援員の応募資格

- ①本学の在学生、②本学の卒業生、③過去の研究支援員の公募に応募した者

●研究支援員人材データベースの登録

研究支援員となることを希望する方は、研究支援員人材データベースにご登録ください。

登録はこちらから→<http://www.oges.shizuoka.ac.jp/sprt/btop.html>



◆活動報告

平成 21 年度男女共同参画シンポジウム (参加者 約 100 名)

「進化する静岡大学 -これからのオンデマンド支援-」

平成 21 年度男女共同参画シンポジウムを、平成 22 年 2 月 12 日、浜松キャンパスで開催しました！



日 時: 2010 年 2 月 12 日(金) 14:30-17:30

場 所: 静岡大学 浜松キャンパス 佐鳴会館会議室

基調講演: 佐藤博樹 氏 (東京大学社会科学研究所教授)

「男女共同参画とワークライフバランスが組織を革新する」

記念講演: 塩川祥子 氏

「静大工学部と女性研究者 -過去・現在・未来-」

- 推進課題報告
- | | |
|--------------|------------------|
| ①理系女性研究者を育てる | 本橋令子氏 (農学部准教授) |
| ②女性管理職を増やす | 荃田美保子氏 (図書館情報課長) |
| ③柔軟に働く | 中村和夫氏 (学長補佐) |
| ④保育ニーズに応える | 船橋恵子氏 (副学長) |

パネル討論 「静大のオンデマンド支援」

興学長に聞く 興直孝学長 + 伊東幸広次期学長予定者



詳しくはこちら>>><http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/report.html> をご覧下さい

◆男女共同参画推進室の取組み

男女共同参画相談窓口

原則予約制 電話、メールにて予約

相談時間 毎週金曜日 13:00~16:00

専用電話 054-238-4789

(金曜日 13:00~16:00)

E-Mail: d-soudan@adb.shizuoka.ac.jp

2010 年 4 月より相談日が金曜日に変わります！

育児や介護に関する支援についても、

お気軽にご相談ください。

連絡を考
えている
学生さん
もどうぞ

保育園の設置について

2 月に行った保育園公募は実現していませんでしたが、さらに条件を整えて静岡大学大谷キャンパスに保育園を設置すべく取り組んでいきます。

在宅勤務試行 募集

静岡大学男女共同参画推進室および在宅勤務研究会では、IT を利用した柔軟な働き方を検討し、2009 年 11 月から在宅勤務の試行を開始しました。制度化に向けて新年度も更に試行をつづけますので、ご興味のある方はご連絡 (sankaku-s@adb.shizuoka.ac.jp) ください。

●在宅勤務研究会メンバー

情報基盤センター : 井上(教授)、八巻(教授)

図書館情報課 : 荃田(課長)

男女共同参画推進室:

船橋(教授)、中村(教授)、白木(助教)

澤田(課長)、勝間田(主任)、清水(主任)

『在宅勤務試行報告書』を近日中にホームページにアップします。

女性研究者(教育者)採用加速システムの実施について

昨年 11 月制定された要項に基づき、今年 2 月に 22 年度採択の 4 件が決定されました。

そのうち 2 件は、教育学部が、評価が同じであれば女性を優先するとして公募したもので、22 年度の女性研究者採用が決定しました。他の 2 件は、理学部と情報学部が、22 年度に女性に限った公募をおこなうもので、配分される人件費枠は、トータルで 100 0 万円が予定されています。

編集・発行

静岡大学男女共同参画推進室 〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 TEL 054-238-4346 / 054-238-3052

E-Mail sankaku-s@adb.shizuoka.ac.jp <http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/index.html>